

あやバス全路線いつでも中学生以下無料！

～やったら見えた「そんな効果もあったのか！？」～

田中皓介¹⁾・綾部市市民環境部市民協働課・松中亮治¹⁾・西垣友貴¹⁾・後藤正明²⁾
¹⁾京都大学大学院 ²⁾(株)シティプランニング 連絡先：tanaka.kosuke.6k@kyoto-u.ac.jp

背景

✓ あやバスについて

綾部市は、京都府北部に位置する人口約3万人の市であり、2005年よりコミュニティバス（通称「あやバス」）の運行を開始した。市内で9路線を運行しており、累計乗車人数は2024年10月に400万人を達成するなど、市民の足として欠かせないものとなっている。

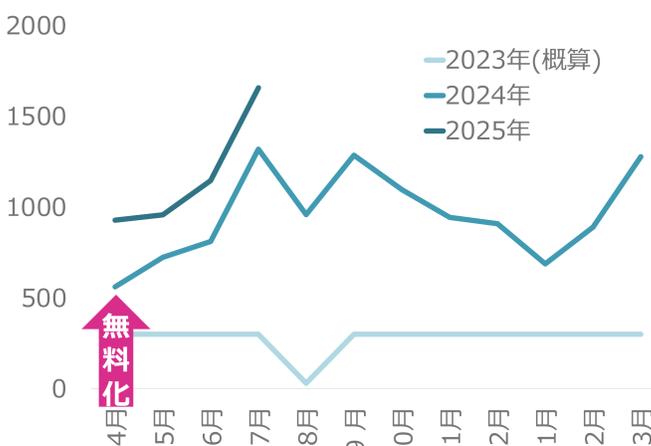
パターンダイヤの導入など各種利用促進を図ってきたものの、人口のピークアウトの影響もあり、利用者、運賃収入ともに、2010年をピークに徐々に減少してきた。そうした中、利用促進の目玉施策として実施したのが本プロジェクトである。

✓ 事業概要

子育て支援の一環として、2024年4月より中学生以下の運賃の、全路線での無料化を実現した。社会実験のような期間限定施策ではなく、**24時間365日いつでもどこでも無料で乗り放題**とする全国でも先進的な事例である。

空気を運ぶくらいなら
子どもたちを運ぼうという精神

中学生以下の乗車人数の変化



- 乗車人数のカウントは無料化後から
- それ以前は定期発行による利用が一定数
- それ以外の中学生以下の利用は数えるほど（運転手談）

考察

- 公共交通は、利用者数、収支など定量的に評価されがち
- 「一人で自由に行ける」「親に気を使わず行動できる」「煩雑な手続きなく生徒みんなで移動できる」といったことの「価値」は定量的なデータからは見えにくい、重要（cf. クロスセクター効果）
- 具体的なエピソードだからこそ心が動き、人・社会が動く
- 具体的な利用事例から新たな利用促進策の契機に
- 子どもを公共空間に解き放つ＝にぎわい醸成効果も？
- バス＝高齢者という先入観からの転換にも？

通学の熱中症対策（個人）

志賀小3年生のAくんは、暑すぎる夏の熱中症対策として、下校時の一部区間であやバスに乗車。親も学校も一安心！

子どもだけでおばあちゃんまで

無償化になってから、子どもたちがあやバスにのって、祖父母の家までバスで行けるようになりました。子どもたちも「乗れた！」と嬉しそうにしています。

by 保護者

園児がワイワイする路線バス

幼稚園の遠足で、園児みんなで利用。上林川、東稜公園、由良川花庭園など、ちょっとした移動が簡単に！

通学の熱中症対策（学校）

志賀小、物部小から、熱中症対策として利用してよいか問い合わせ。もちろんOK！

親が不在の夏休みのイベント参加も容易に

中丹文化会館前16:13発～16:26綾部駅南口着

8月3日の夏休み特別企画「リスボン博士のワクワク体験サイエンスショー」に福知山ガールズスカウトの小学生7名、大人5名が乗車。親が仕事でも夏休みのイベントに気軽に参加できる！

他校の音楽イベントに参加

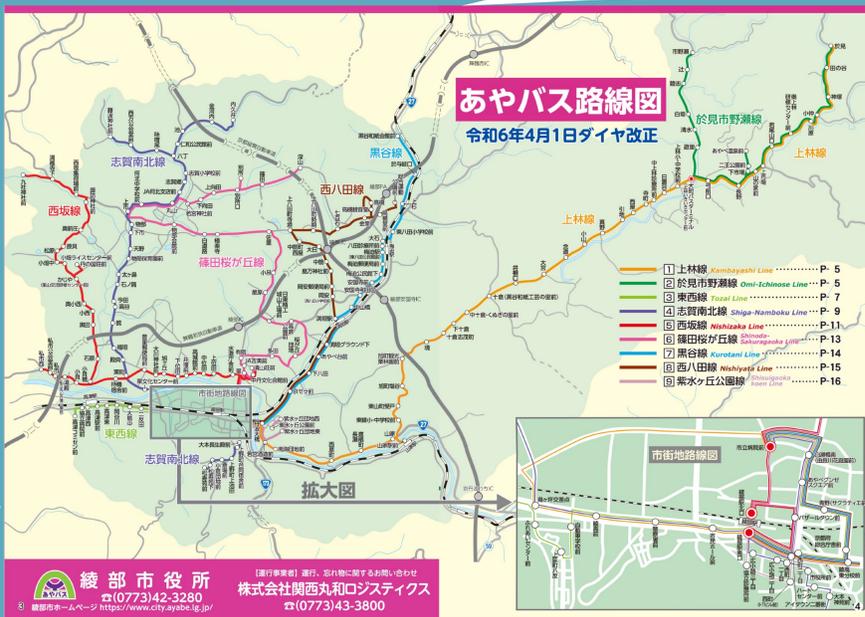
物部小学校の3年～4年生が、志賀小学校で開催される音楽イベントに参加するためあやバスを利用。

スクールバスの手配が不要になり、公共交通に触れる機会にも繋がりが良かった。

by 物部小の先生

社会科見学でスーパーへ

中筋小3年生約20名は、スーパーマーケット「マツモト」の社会科見学に行くために、みんなで乗車。以前は市民マイクロバスを使っていたが、わざわざ出さなくてもあやバスに乗ればよかったんだ！



雨の日はみんなでバス

桜が丘団地7:28発～綾部駅南口7:47着

普段は、学校に友達と自転車で通っているが、登下校の時間帯に、急に天候が悪くなる事が多く、豪雨や雷、道路の冠水など、危険に感じることも多々あった。

あやバスが無料で利用できることを親から聞いて、雨の日や天気が悪くなりそうな日は、バスを利用している。

親に送迎をお願いする必要がなくなったので、気が楽になった。時刻表も自分で調べられるようになったし、友達と話しながら通学できるのは楽。テストのときは勉強しながら学校に行ける。

今は、自転車とバスを使い分けて、利用している。

by 中学1年生女子

習い事の送迎負担軽減

栗文化センター前16:48発～福垣16:51着

小学4年生の子どもがECCの習い事に通っている。

校区内ではあるが距離があり、一人で自転車で行かせることには不安があり、行きは祖父母の送迎、帰りは仕事終わりに自分がお迎えに行くようにしていた。

祖父母も仕事もあり、家族間の調整に負担を感じていたが、あやバスが無料で乗車できるようになったことを知って、4月から利用するようになった。

最初は緊張していたが、今は一人で利用できるようになった様子。

子どもの習い事の送迎に家族間の時間調整が不要になったこと、高齢の祖父母に無理に運転させる必要がなくなったこと、自分も時間の余裕をもって仕事ができるようになったことが、良かった。

by 小学4年生の母

たまにはバスで通塾もいいね

桜が丘団地13:43発～綾部駅南口14:03着

子どもが塾の夏期講習（昼間～夜）に自転車で通っているが、山頂の団地に家があり、通塾の行程は、距離もあり、坂道もかなりハード。昼間の移動は熱中症が、夜間の移動は一人なので防犯面で心配だった。

受験生で毎日授業もあるが、授業の時間帯が不規則で、私も夫も、仕事で毎日の送迎は難しい。

自分で自転車で通塾することがほとんどだが、夏休みは、授業の時間やその日の体調に合わせて、バスも併用するようになった。

猛暑の中、本人も体調管理がしやすくなったようで、親としても心配が少なく、気が楽になった。

by 中学3年生男子の母